

平成30年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告

区市町村名 府中市

学校名 府中市立府中第二小学校

1 事業目的

協議会名 府中第二小学校芝生グリーンキーパー協議会

○学校とPTA、地域が連携・協力して芝生の維持管理をすることを通して、家庭や地域との関係を深める。

○芝生化された校庭で教育活動や地域の活動を行うことを通して、児童の健全育成を図る。

2 主な取組と成果

○PTA及び地域関係者が中心となり、年間を通して校庭の芝刈り作業などを行い、芝生の維持管理をすることができた。

○グリーンリーダー(本校名称…グリーンキーパー)を配置し、芝生ボランティアを募り、お手伝いをしてもらうことによって、円滑な活動を行うことができた。

○芝生化された校庭を利用した様々なイベントを開催することによって、芝生の良さを広める機会となった。

3 具体内容

○芝生ポット苗植え付け（5月16・17日）移植作業（6月27日・28日）

全児童とPTA、地域関係者、教員の1000名以上が芝生ポット苗の「植え付け」と「校庭移植」の作業をした。

5月16・17日の植え付けでは、各クラスのポット苗シートに各自が夏芝を植え付けた。その後6週間、各教室のベランダ等で育てた。

また6月27・28日の校庭移植では、育った芝生をポット苗シートからくり抜き、それを校庭の芝生のはげた部分に埋め込む作業をした。



○芝生養生作業（7月20日）

養生シートをかけて(グリーンキーパーや芝生業者、PTA、教職員で協力して)3週間ほど芝生を保護した。その期間も児童は校庭で遊ぶことはできた。

この作業の効果により、緑の芝が一面に広がった。今年度は猛暑や台風など気象条件が良くなかったが、芝生は今までで一番良い状態であった。緑がまぶしい校庭とはまさにこのことである。



○連合陸上記録会練習（10月2日・3日）

10月2日と3日、緑の芝生の上で、6年生が連合陸上記録会の練習を行った。小中連携活動の一環で、浅間中学校の生徒がたくさん教えに来てくれた。みんな芝生の上で気持ちよく練習ができた。



○冬芝の種まき

10月9日冬芝の種まきを行った。緑が持続してほしい。

4 今後について

○今年度の芝生の校庭移植作業にはPRの効果もあり、たくさんの保護者、地域の方が参加して行うことができた。来年度もよりいっそうのPR活動を行い、家庭や地域に「校庭芝生」をアピールしていきたい。

○できるだけ多くの教職員が作業できるような日時を設定し、教職員PTA、地域協力者、校庭施設利用団体との連携をより一層深める。

○今年度は今までで一番芝生の状態が良かったので、今年度取り組んだ日程で芝生の作業を行っていく。